

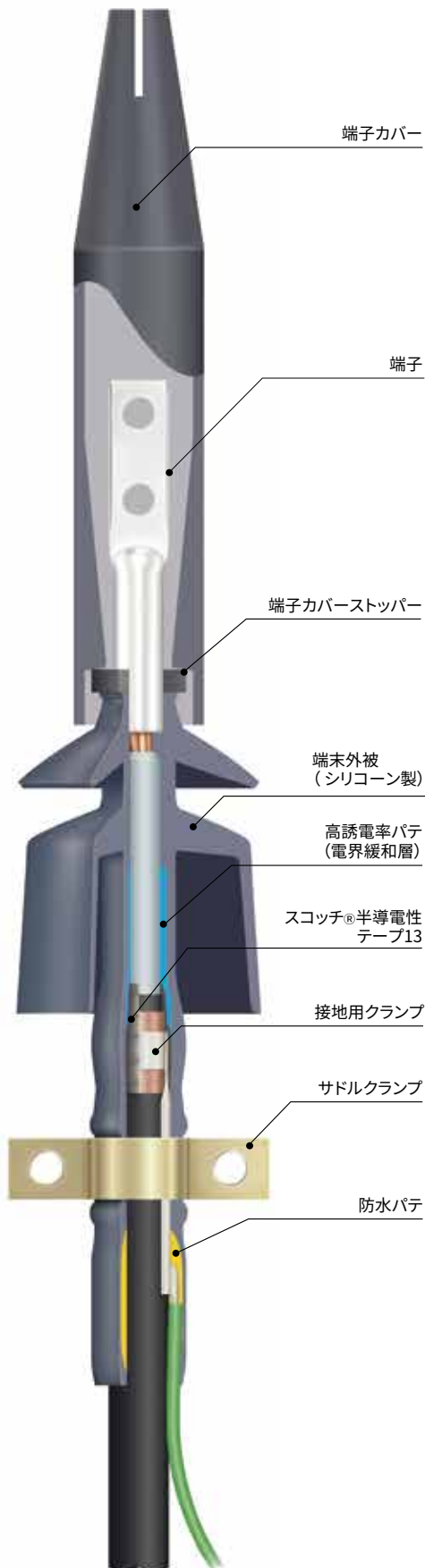
高压引込口配線対応製品

3M™ PST 端末耐塩用 -EM

6600V CVT、EM-CETケーブル用
常温収縮形耐塩端末キット
圧着端子仕様



高圧引込口配線に対応した 常温収縮形耐塩用ポリマー末端を 3M独自のオールインワン構造と常温収縮技術により、最小限 ステップを実現した重塩害地区用ポリマー末端です。



特長

軽くて、割れない

- 磁器碍子端末と比較し、極めて軽量であり、衝撃に強く、柱上での作業性に優れます。
- JCAA型磁器碍子端末(JCAA C3101)に比べ約50%の軽量化を実現。

作業時間短縮

- 常温収縮チューブ工法とパテ内蔵技術により作業者の負担を最小限に抑え、施工時間の短縮を実現しました。
- JCAA 型磁器碍子端末(JCAA C3101)に比べ約60%の施工時間の短縮が可能。
- 無半田の接地用クランプを採用し、火気、熱源を必要とせず安全です。

高い信頼性

- 外被に耐トラッキング性能に優れた専用シリコーンゴムを採用し、耐塩特性を高めています。
- 外被材料に撥水性に優れたシリコーンゴムを採用し、かつ深溝形形状にしたことにより表面漏洩電流を低減します。
- シリコーンゴムの撥水性は材料由来のもので、磁器碍子と異なり撥水性を長期間維持します。

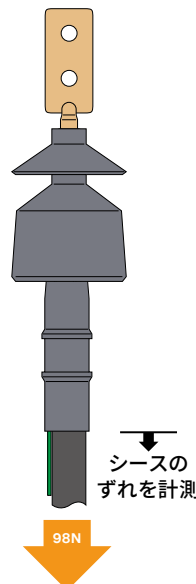
シュリンクバック抑制効果

- シュリンクバック抑制に効果のある設計を採用しました。
※電気学会研究会資料を参考に、当社規定の試験方法に基づき検証しています。
- キット構成材料のハロゲンフリー、鉛フリー化をはかり、エコケーブル (EMケーブル) にも使用可能です。
- JCAA K1301 「6600V架橋ポリエチレン絶縁電力ケーブル用接続部性能基準」に準拠します。

シュリンクバック抑制効果について

下記設定条件に基づき試験を実施し、シュリンクバック現象抑制に効果のあることを検証しています。

シュリンクバック抑制効果検証試験



98Nをシースに加える

-15°C~70°Cの温度変化を30サイクル加える

シースが20mm以上ずれないことを確認

シュリンクバック現象とは

ケーブル製造時の残留応力が日射や通電等によるヒートサイクルにより開放され、シースが収縮する事象をいいます。端末部においてシュリンクバック現象が発生すると、シース端部が露出して水がケーブルに浸入したり、遮蔽銅テープが破断して絶縁破壊に至ることがあります。

参考文献

電気学会研究会資料 No.EWC-11-021
「CVTケーブルのシュリンクバック対策について」

※シュリンクバック抑制効果は、設置環境、ケーブルの種類等により異なる場合があります。

ラインナップ。

の部材構成で大幅な作業時間の短縮と、簡単で確実な工法

キット構成



キット構成材料		単位	数量
1	端末外被	個	3
2	端子 (端子カバーSTOP付)	個	3
3	スコッチ® 半導電性テープ13	巻	3
4	3M™ 自己融着性絶縁テープ フィットテープ	巻	1
5	接地用クランプ	個	3
6	端子カバー	個	3
7	サドルクランプ	個	3
8	ゴムブッシュ	個	3
9	圧着B端子 (リード線側端子)	組	3
10	すずメッキ軟銅線	個	1
11	相色別テープ (赤、白、青)	組	1
12	多心用ブラケット	個	3
13	ゴムスペーサー	組	1

キット種類

適用ケーブル	導体面積	型番
6600V CVT、EM-CET	38	T6PS-B-R3-38-EM
	60	T6PS-B-R3-60-EM
	100	T6PS-B-R3-100-EM

※ 耐火 (FPT) ケーブル選定の場合はケーブルメーカー、型番、サイズをご確認の上、当社までお問合せください。

※ 遮水層が含まれるケーブルに関しては事前に当社へ使用可否についてお問い合わせください

作業手順を公開
しております

[http://go.3M.com/
jp_EMD_t6psb_r3_st](http://go.3M.com/jp_EMD_t6psb_r3_st)



性能規格

試験項目	性能
商用周波耐電圧	1 常温: 22kV、1時間 / 高温 (90°C): 19kV、1時間
	2 長期課通電後、常温: 10kV、1分間 / 高温 (90°C): 8.5kV、1分間
雷インパルス耐電圧	常温: ±85kV、3回 / 高温 (90°C): ±70kV、3回
商用周波電圧部分放電	10kVで発生しない、または5.5kVで消滅
注水商用周波耐電圧	8.5kV、1分間でフラッシュオーバーなし
商用周波電圧汚損	8.5kV、5回でフラッシュオーバーなし 塩分付着密度: 0.35mg/cm ²
長期課通電	8.5kV、導体温度 95 ~ 100°Cとなる通電8時間を30回
気密	49kPa (内圧)、1時間

JCAA K1301 「6600V架橋ポリエチレン絶縁電力ケーブル用接続部性能基準」に準拠します。

作業手順



1. 接地用クランプの取付け

2. 半導電性テープ巻き

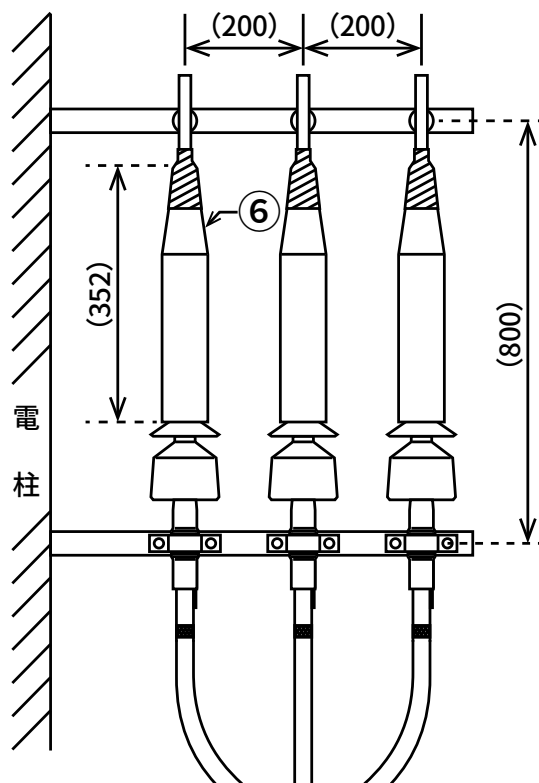
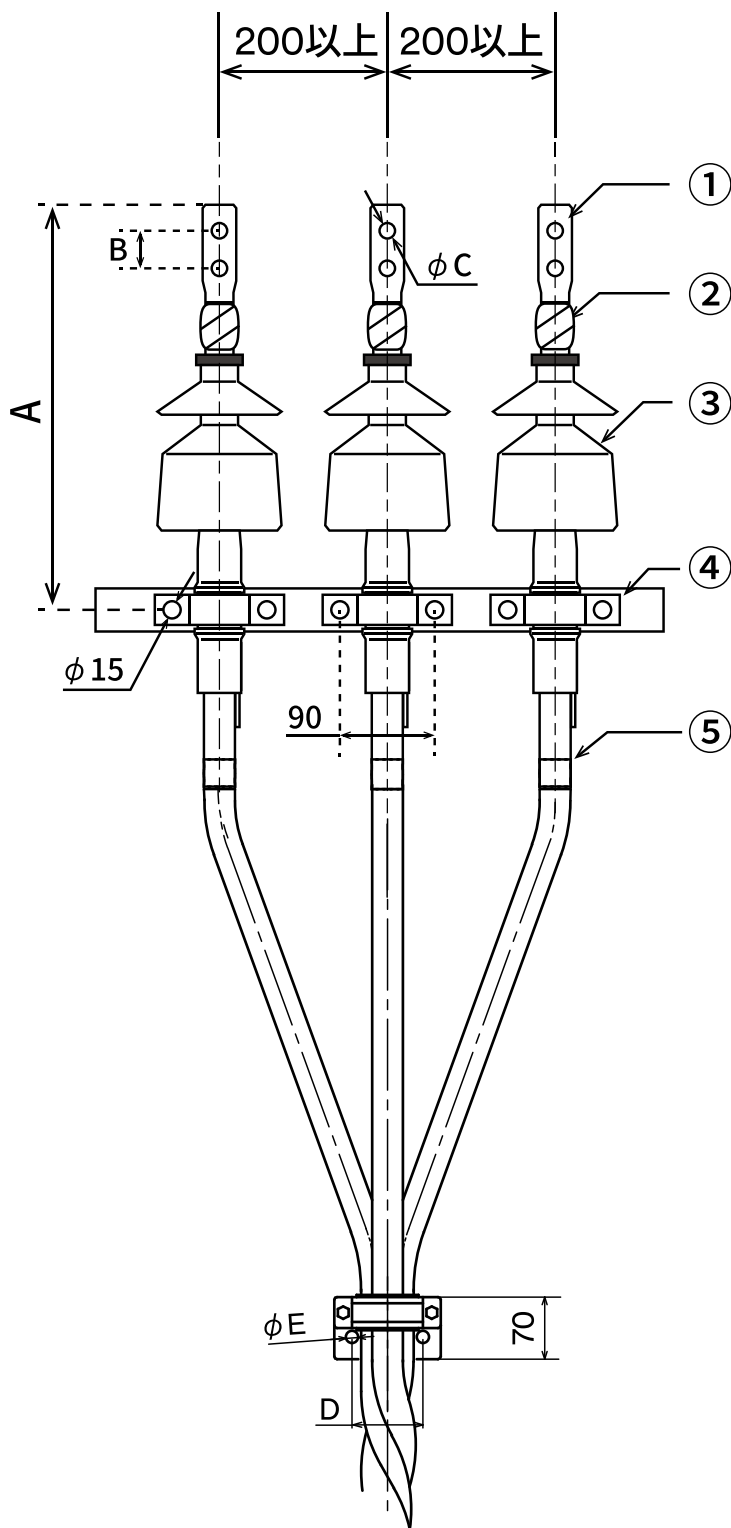
3. 端子の取付け

4. 端末外被を装着

※ ケーブルシース部の防水処理にテープ巻きが不要です。

5. 完成

仕上り図



装柱例

番号	品名
1	圧着端子
2	3M™ 自己融着性絶縁テープ フィットテープ
3	端末外被
4	サドルランプ
5	相色別テープ
6	端子カバー

導体公称断面積 (mm ²)	各部の寸法 (mm)				
	A	B	C	D	E
38	345	32	11	75	11
60	350	32	11	75	11
100	375	40	14	80	14

各種数値は参考値であり、保証値ではありません。仕様及び外観は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。本書に記載してある事項、技術上のデータ並びに推奨は、すべて当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について保証するものではありません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任のすべてを負うものとします。売主及び製造者の義務は、不良であることが証明された製品を取り替えることに限定され、それ以外の責任は負いません。本書に記載されていない事項若しくは推奨は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り、当社は責任を負いません。

3Mは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社

電力マーケット事業部

<http://www.mmm.co.jp/electro/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2020. All Rights Reserved.
ELE-251-A (1020)

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-012-321

9:00~17:00 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)